

埋蔵文化財包蔵地(川西地区)の一部掘削について(第一報)

現在、国土交通省において整備を進めている、一般国道192号徳島南環状道路7工区【(仮称)国府IC(徳島市国府町延命)～(仮称)大木IC(徳島市上八万町下中筋)】の建設工事におきまして、埋蔵文化財包蔵地(川西地区)の一部を、調査前に掘削してしまったことが判明いたしました。

当事務所では1月にも同様の事案が発生しており(1月30日記者発表)、この事実を重く受け止め、徳島南環状道路全工事を一時中断し再度確認を行うこととしました。徳島県教育委員会の指導を受け再発防止策に取り組んでいる中での今回の件について、深く反省し、県民並びに関係機関の皆様に対して深くお詫び申し上げます。

尚、本日、徳島県教育委員会の現地調査を依頼しており、被害状況を把握した上で今後の対応を検討してまいります。

1. 発生日 平成21年 1月末日(詳細確認中)
2. 徳島県教育委員会 現地調査日 平成21年2月13日(金)13:30より
3. 発生箇所 徳島市上八万町川西地内(位置図参照)
4. 発注者 国土交通省徳島河川国道事務所
5. 概要 発掘調査が未了である上記箇所において、一部を掘削したものの。
6. 規模 今回の掘削面積 約105m²(幅5.5m・延長19m)

平成21年2月13日
国土交通省 四国地方整備局
徳島河川国道事務所

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所
TEL (088)654-2211 (代)

◎ 道路副所長 岡村 環 (内線205)
工務第二課長 門田 隆志 (内線411)

◎主たる問い合わせ先

1. 経緯

埋蔵文化財調査を継続中の徳島市上八万町川西地内において、埋蔵文化財包蔵地の一部を国土交通省発注工事により掘削してしまったもの。

2. 誤掘削の概要

誤掘削面積 約 105m² (幅5.5m・延長19m)

3. 工事概要

工事名：平成20年度 川西高架橋下部工事
工期：平成20年9月13日～平成21年3月31日
施工業者：尾崎工業(株)

4. 原因

原因については現在聴き取り調査中です。

5. 添付図面

- ①徳島南環状道路 位置図
- ②川西地区 埋蔵文化財調査 範囲図

【参考】

平成20年	8月25日	(財)徳島県埋蔵文化財センターが当地区で埋蔵文化財調査（試掘）の作業を開始。
平成20年	9月8日	(財)徳島県埋蔵文化財センターが試掘調査を完了。埋蔵文化財調査（本調査）の必要範囲が確定。
平成20年	9月12日	平成20年度 川西高架橋下部工事 契約 （工期：平成21年3月31日まで 施工業者：尾崎工業(株)）
平成20年	11月	(財)徳島県埋蔵文化財センターが当地区で埋蔵文化財調査（本調査）に着手。
平成20年	12月上旬	(財)徳島県埋蔵文化財センターより国土交通省へ、本調査の完了した区域から順次引き渡しを開始。
平成21年	1月6日	P1橋脚について掘削工事開始。
平成21年	1月末	掘削（詳細確認中）
平成21年	2月10日	徳島監督官詰所が徳島県教育委員会文化財課より未調査地掘削について指摘を受ける。 施工業者に未調査地の保護を指示。
平成21年	2月12日	徳島県教育委員会文化財課、(財)徳島県埋蔵文化財センター、徳島河川国道事務所による現地確認。 未調査地の掘削を確認し、徳島南環状道路の全工事を一時中断し再点検することを指示。

① 徳島南環状道路 位置図



徳島南環状道路
L=9,500m W=19.5m

② 川西地区 埋蔵文化財調査 範囲図

